

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	北広島町立八重小学校	対象となる主な学年	全校児童
取組事例名	「八重小文化祭ーカルチャーフェスティバルー 全校ダンスの取組」		

◆ 児童の実態及び取組を通して育てたい児童像

児童の実態	取組を通して育てたい児童像
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の課題として、単学級のため、人間関係や友だちに対する見方が固定化する傾向がある。 ・言われたことはやろうとする児童は多いが、受け身の児童が多いため、学校生活を自分達でよりよくしていこうとする意欲が低く、自治的な活動経験が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いのよさやがんばりを認め合うことで、友だちとのつながりを深めることができる児童 ・自分達が主体となって、練習計画を立てたり、練習を進めたりすることによって、自分達で学校生活をよりよくしていこうとする児童 ・一つの目標に向かって、よりよくするためのアイデアを出し合いながら、他者と協働する児童

◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
<p>◎全校ダンスに参加し、全員で一つのことに取り組むこと、友だちのよさやがんばりに気付くことを通して、八重小学校の一員としてのつながりを深める。【人間関係形成】</p> <p>○自分達で工夫して練習を進めることを通して、学校生活をよりよくしようとする態度を育てる。【社会参画】</p>
取組の流れ・創意工夫・児童の変容等
<p>1 取組の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年前から、児童会行事で、一人一人が自分のよさを発揮し、認め合うことでつながりを深めることをねらいとして、「八重小文化祭」を行っている。第3回を迎えるに当たり、これまでの成果と課題を踏まえ、「全校表現」を行うことを児童に提案した。これを受けて「全校ダンス」に取り組むことになった。 <p>2 取組の主な流れ</p> <p>(1) 児童会役員と6年生への提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「八重小みんなのつながりを深めるために、全校児童で全校発表に取り組んではどうか」と児童会役員に提案し、児童会役員と6年生で協議し、「全校ダンス」に取り組むことに決めた。【自己決定の場の提供】 <p>(2) 計画の立案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校ダンスを行うに当たっては、児童が選曲（緑黄色社会『Mela!』）し、振り付けや指導を、ダンススクール「FLEX」のインストラクターに依頼した。それをもとに自分達で練習することにした。 <p>(3) 全校ダンスの練習【安全・安心な風土の醸成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/12（金）に、インストラクターが4名来校し、全校ダンスの振り付け指導を行った。（サビと間奏部分のみ）その他の振り付けについては、後日送られてきた動画をもとに個々に練習を行った。 ・全校での練習は、6年生からダンスリーダーを募り、ダンスリーダーを中心に昼休憩に練習を行った。これにより、「自分達でよりよい全校ダンスにしたい!」という意欲を引き出すことができた。 ・冬季休業中は、八重小児童クラスルームに練習動画を配信して各自で練習し、3学期に入ってから5回の全校ダンス練習を行った。ダンスリーダーが練習内容を工夫し、日に日に上達していった。 <p>(4) 八重小文化祭当日（1/21）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員バンドによる楽曲演奏により、児童と職員が一緒になって全校ダンスを踊った。これを動画撮影し、保護者に配信した。保護者から感想をもらうことで、「やってよかった」と実感できるようにした。 <p>(5) 全校朝会「八重小文化祭大成功! ありがとう朝会」（1/22）【自己存在感の感受】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会役員から全校児童へ感謝の気持ちを伝えた。全校ダンスの動画を視聴した後、ダンスリーダーへの感謝状を贈った。朝会後の学級指導で、インストラクターの先生方へお礼の手紙を書いた。

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

<p>○児童が中心となって練習を進め、全校児童が一つのことをやりきったことで、事後アンケートでは、主体性に関する項目は93%、自己効力感に関する項目は95%の児童が肯定的回答だった。</p> <p>○ダンスが苦手な児童と個別面談を行い、不安な思いに共感するとともに、放課後いっしょに練習したり、振り付けを工夫したり、楽器の演奏をしたりするなど、その子なりの参加の仕方を考えることで、誰一人取り残すことなく全校児童がダンスに前向きに参加できたこと、これにより、「全校ダンスをやったよかったですか」という質問に対して98%の児童が肯定的回答だったことは大きな成果と言える。</p>
--